

# J A グループ宮城 災害復興ニュース ( 総合版 )

## 第 5 2 号

【平成 25 年 5 月 7 日 (火) 発行】  
発行：J A グループ宮城災害復興本部  
編集：J A 宮城中央会  
〒980-0011 仙台市青葉区  
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F  
電話番号：022-264-8207  
FAX 番号：022-216-4466  
E-mail：jataisaku@gmail.com

### 《目次》

1. 「賠償金支払い、一刻も早く」。東電本店で緊急申し入れ
2. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第 20 次請求
3. 農業復興に向け、J A グループ宮城が県議会議員らと懇談会
4. 県農青連と J A みやぎ女性協が、震災復興と反 TPP を特別決議
5. 産直レストラン COCORON が復興フェアの売上金を贈呈

#### 1. 「賠償金支払い、一刻も早く」。東電本店で緊急申し入れ

J A グループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会の菅原章夫会長（J A 宮城中央会会長）らが 4 月 9 日、東京都千代田区の東京電力本店を訪れ、賠償金の一刻も早い支払いと、請求事務の簡素化など 5 項目を強く申し入れました。

菅原会長は「賠償金の支払い遅れで被災農家の経営と暮らしは深刻化する一方だ。事故発生の責任主体として、東電は申し入れを直ちに実行するよう強く求める」と、東電の増田祐治常務に申し入れ書を手渡しました。



増田常務<sup>㊟</sup>に申し入れ書を手渡す菅原会長

増田常務は「ご迷惑、ご心配をかけて改めてお詫びします。早期の支払いに向けて引き続き努力します」と語りました。

申し入れでは、①支払い進度の改善に向けた体制・対応の拡充・強化②本払いの早期実行③請求業務等にかかる事務費の認定・早期支払い④第 3 次追補の遵守および請求事務等の簡素化⑤稲わら、牧草、堆肥等の保管経費への賠償対策—を求めました。

この日の緊急申し入れには、県内 J A の組合長ら 22 人が上京。一行はこの後、厚生労働省に秋葉賢也厚労副大臣兼復興副大臣を訪ね、早期の賠償金支払いへ尽力を要請しました。

#### 2. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第 20 次請求

J A グループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会は 4 月 24 日、東電への

第20次請求を、13億8900万円とすることを決め、4月30日に請求しました。

この日の総会には東電東北相談補償センターの小松日出夫所長が出席。4月9日に同協議会が緊急申し入れした内容についての廣瀬直己社長からの回答書を、菅原章夫会長に手渡しました。それによると、支払いの迅速化に向けて業務運営を見直し、同相談補償センターの要員を増員。肉牛・子牛（一部畜種）については5月中の支払いを目指す。請求業務等にかかる事務費は支払う。早期の支払いに向けて対象範囲の考え方や簡便な請求方法等について、JA全中と協議を進める、としています。また、稲わら、牧草、堆肥等の保管経費については、事故と相当因果関係のある損害については、必要かつ合理的な範囲で支払う、と回答しています。

4月末現在、同協議会の請求総額は252億7600万円、受領総額は158億2600万円で、請求対比62・6%となっています。

### 3. 農業復興に向け、JAグループ宮城が県議会議員らと懇談会

JAグループ宮城は4月24日、県議会議員、県農林水産部と、宮城県農業復興に向けた懇談会を、仙台市で開き、東日本大震災からの農業復興や環太平洋連携協定（TPP）問題などについて意見交換しました。



行政、県議会、JAが一体となって復興に向けて取り組んでいくことや、TPP交渉参加阻止ではJAと県議会が連携して国に訴えていくことを確認しました。

JAグループ宮城からは県内11JAの組合長らと県連合会代表が、県議会からは議長の中村功、県議ら自民会派の10人が、県農林水産部からは高橋正道次長、寺田守彦次長ら8人が出席しました。意見交換でJAグループからは、震災復興の取り組みの迅速化や、TPPに対する不安を訴える声が増えました。これに対し、県議からは、「TPPが県内農業に打撃を与えるという認識は一致している。断固阻止の思いは我々も同じ」といった意見が出されました。

### 4. 県農青連とJAみやぎ女性協が、震災復興と反TPPを特別決議

宮城県農協青年連盟は4月17日に、JAみやぎ女性組織協議会は4月19日に、それぞれ通常総会を開き、東日本大震災からの復興と、TPP交渉参加反対の二つの特別決議を採択しました。

2013年度は引き続き、大震災からの復旧・復興に総力をあげ、連携してTPP反対運動を盛り上げていくことにしています。

### 5. 産直レストランCOCORONが復興フェアの売上金を贈呈

JA全農みやぎのアンテナショップ、産直レストランCOCORON（こころん）は3月29日、「～宮城の復興は農業から～食べるんだったら宮城の野菜・お肉」復興フェアの売上金の一部を、義援金としてJAグループ宮城災害復興本部に贈りました。フェアは3月1日から11日まで実施。被災した沿岸5JAの野菜を販売し、食べて応援ランチ「南三陸町産若鶏のから揚げ 県産野菜のサラダ添え」を800円で提供しました。